

連合文化振興事業について ～「文化の道」事業～

■ 「文化の道」事業

関西観光・文化振興計画（中間案）に基づき、関西が世界的な文化創造の発信拠点となり、関西ブランドを国内外に広めるとともに、関西文化の継承・発展や関西への誘客促進を図るため、関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業を実施する。

■ 24年度のテーマ

「人形浄瑠璃」

（ 関西で生まれ、全国に広まった芸能であり、今なお関西の各地域で継承・活動されている、関西共通の貴重な文化資源である人形浄瑠璃をテーマに事業を展開 ）

■ 事業計画の柱

- 関西の人形浄瑠璃団体が交流・連携のシンポジウム等の開催
→ 国民文化祭・とくしま2012「全国人形芝居フェスティバル」と連携
- 全国的な購読層の多いメディアへの掲載や外国人向けPR紙の作成等
- 複数年の取組を想定し、24年度の成果を踏まえ事業を構築

■ 推進体制

- 関西広域連合、文化団体等の官民連携による『関西広域連合「文化の道」事業実行委員会（仮称）』を設置。補助金の受皿とし、事業を展開

■ 財 源

- 文化庁「文化遺産を活用した観光振興・文化振興」補助金の獲得・活用を目指す。
- 文化庁の補助金採択後、連合予算としても予算の構築を検討（8月補正）
→ 事業費及び活動経費として100万円程度（全体事業費の1割程度を想定）